

令和6年度 事業所における自己評価および総括表

児童発達支援事業所「ひまわりひくまの丘」

対象者:6名 回答者:6名

チェック項目	とてもそう	まあそう	どちらともいえない	あまりそうではない	まったくそうではない	意見を踏まえた工夫や充実を図るための取組等	
	5	4	3	2	1		
環境・体制整備	① 指導訓練室等、スペースに対し、利用定員は適切であるか	4	2				
	② 職員の配置数は適切であるか(児5人:職員1人)	2	3		1	1対1対応が必要なケースが複数いる場合、配置が足りないことがあるが、保護者に支援を移行していく事で調整出来ている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、バリアフリー化や情報伝達の配慮が適切になされているか	3	2		1		
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	3	2	1			・危険防止のため、保育中は窓を開けられない為保育室内がやや空気がこもりやすい。窓用ストッパーを使用し適宜喚起している。 ・保育用に建てられた施設ではない為使いづらい面もあるがパーテーションなどを使用し空間を分けるなどの工夫をしている。
	⑤ 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか?	5	1				
業務改善	⑥ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	3	3				
	⑦ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1				
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	4	1	1			
	⑨ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をおこなうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1				
	⑩ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1		1	
適切な支援の提供	⑪ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1				年間で研修内容を決め、それに沿って職員全員で研修を行っている。また、必要に応じて動画を用いるなどして職員の日ごろの保育の様子を振り返り資質の向上を図っている。
	⑫ 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	4	2				
	⑬ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5					
	⑭ 子どもの適応状況の状況を標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	1	3	2			
	⑮ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	4	1	1			
	⑯ 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理者だけではなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	5	1				
	⑰ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	3				・支援計画を常に意識出来るよう毎回の記録用紙に支援計画を添付し確認できるようにしている。
	⑱ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6					・職員会議で検討し立案している。
	⑲ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	6					

	㉔	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	5	1					
	㉕	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	6						
	㉖	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6						
	㉗	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2					
	㉘	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	6	2					
関係機関や保護者との連携	㉙	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2					
	㉚	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	3	3					
	㉛	地域の保健、医療、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携した支援を行う体制を整えているか	4	1					保護者同委の情報提供、共有を行っている。
	㉜	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか							
	㉝	並行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。またその際保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1					保育所等訪問を行い連携している。
	㉞	就学時の移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1					サポートかけしシートを使用し学校へ引き継ぎを行っている。
	㉟	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携を図り、地域全体の向上に資する取り組み等を行っているか	3	2					
	㊱	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	3	1	2				
	㊲	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか		2		2			
	㊳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		1	1	1		
	㊴	日ごころから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1					
		㊵	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等が参加できる研修会や情報提供等を行っているか	5	1				
	㊶	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1					オリエンテーション時に行っている。
	㊷	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	6						定期的に個別面談を行っている。
	㊸	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	1					

保護者への説明責任等	④①	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1				
	④②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	3	1		1		
	④③	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談の申し出があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1				
	④④	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	1	1		保育室の掲示板に毎月掲示し発信している。また、家庭に持ちかえられるよう同じ内容の用紙を配布している。
	④⑤	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5	1				
	④⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	3				
非常時の対応	④⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		1	1	1	
	④⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2				
	④⑨	業務継続計画を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	1			
	④⑩	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4		1			アセスメントシートの記入や定期的な振り返りの差に確認を行っている。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	3	2	1			利用開始前に書面にて確認と保護者から直接聞き取りも行っている。全職員に周知出来るよう禁止食品を掲示している。念のため、次回使用する食材は保護者に確認を取ってから提供している。
	④⑫	安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練を行い、安全管理が充分な中で支援が行われているか	5	1				
	④⑬	子どもの安全確保に関して、家族等の連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等に周知しているか	3	3				
	④⑭	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	6					
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6					
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		1		1	

